

## 5 環境教育の充実

### (1) 「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の一層の充実

平成27年9月11日付け上教第694号「『水俣に学ぶ肥後っ子教室』における水俣病資料館との連携について」で通知しましたように、各学校の取組に際して、訪問前に「連絡用紙」を活用し、水俣病資料館との連携を十分図るようお願いします。

【「環境ISO取組報告」、「環境教育実施状況調査」より】

	小学校	中学校
環境 ISO の取組を地域や家庭に広げているか。	92%	50%
「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の学習成果を地域に発信しているか。	100%	—

【「水俣に学ぶ肥後っ子教室」指導資料（H26.3発行）より】

#### 【提出期限について】

連絡用紙は、水俣病資料館訪問の1週間前を目安に送信して下さい。（期限に遅れる場合は、資料館へご相談下さい。）なお、連絡用紙以外の送信表は、必要ありません。

FAX送信票	
送信先:	平成 年 月 日
水俣市立水俣病資料館 「水俣に学ぶ肥後っ子教室」御担当者 様	
住所: 〒867-0055 水俣市明神町53番地	
電話: 0966-62-2621	
FAX: 0966-62-2271	

#### 「水俣に学ぶ肥後っ子教室」事前学習

実施期日	平成 年 月 日 ( )
学校名	立 小学校
校長名	
連絡担当者名	
連絡先	電話: - - FAX: - -
事前学習の概要	(1) 「環境について学ぶ」について ・ ・ ・ (2) 「水俣病について学ぶ」について ・ ・ ・
質問事項	○ ○ ○
※質問の対象者を明記してください。 例: (語り部さんへ)	
備考	

#### 【事前学習の概要について】

「事前学習の概要」の欄に、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の目的である「環境について学ぶ」と「水俣病について学ぶ」についての事前学習の概要をご記入ください。

#### 【質問事項について】

「質問事項」の欄に、児童の質問事項をご記入ください。  
水俣病資料館での学習活動の充実が図られるよう、事前学習において児童の質問事項を明らかにしておくことが重要です。

なお、質問事項が多い場合は、大まかに分類して記入するなどの工夫をお願いします。

質問の対象者を明記してください。  
例: (語り部さんへ)

< 「水俣に学ぶ肥後っ子教室」のおおまかな流れ >

#### 事前学習

- ・ オリエンテーション
- ・ 課題づくり等

#### 訪問1週間前

**連絡用紙の送信**  
児童の質問事項を明らかにしておくことが重要

#### 現地学習

- ・ 施設訪問
- ・ 語り部の方の講話

#### 事後学習

- ・ 学びの確認
- ・ 学習のまとめ
- ・ 発信（学習発表会、掲示）等

詳しい説明は、指導資料「水俣に学ぶ肥後っ子教室」（平成25年4月義務教育課）にあります。

(2) 「学校版環境ISO」の一層の充実

平成27年度学校版環境 ISO コンクールに全小・中学校の御参加ありがとうございました。今年度は、小学校の部で益城町立広安西小学校が最優秀賞、中学校の部で益城町立木山中学校が優秀賞を受賞されました。

まとめ方には、ポイントがあります。下の5つのポイントを網羅するようにまとめましょう。

優秀賞を受賞された木山中学校の取組を紹介します。

**平成27年度木山中学校版 ISO の取組**

1 今年度の組織及びISO宣言

1) 組織

2) 宣言

生徒	職員
<ul style="list-style-type: none"> <li>水道水の無駄遣いをなくします。</li> <li>光熱費の節約に努めます。</li> <li>トイレトーパーの無駄遣いをなくします。</li> <li>無言清掃を行います。</li> <li>花壇整備に努めます。</li> <li>PTAと連携して、環境整備に努めます。</li> <li>県主催事業を活用し、学校や家庭での生活改善に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道水の無駄遣いをなくします。</li> <li>光熱費の節約に努めます。</li> <li>トイレトーパーの無駄遣いをなくします。</li> <li>給の再利用に努めます。</li> <li>ゴミの分別を行います。</li> <li>保護者・地域と連携し環境整備に努めます。</li> </ul>

数値目標：昨年年度比-3%（電気・水道使用量）

宣言をもとに生徒と職員がそれぞれ具体的な取組を進めることができたと考えた。また、組織に関してはみどり環境委員会を中心に、例年、環境に関する活動を進める委員会として活動を取り分けることにしている。今年度は他の委員会にも広げ、ISO活動を更に展開できないか検討を進めた。加えて、数値目標を定め、現在の状況（使用量）を把握できるように周知徹底を図った。今年度は生徒、エアコン導入があり、電気・水道使用量削減には工夫が必要である。

2 行動

1) 生徒の取組

①委員会での活動

委員会	ISO宣言に関する活動
みどり環境	電気・水道使用量チェック、呼びかけポスター作成、花壇整備
美化	無言清掃コンクール、無言清掃呼びかけ、節水・節電の清掃
ボランティア	ペットボトルキャップ集め、呼びかけポスター作成
給食	残菜調査、お盆洗いチェック
放送	昼休み節電呼びかけ放送
図書	環境に関する図書の分類

【みどりの環境】

a: 電気・水道使用量チェック

b: 花壇整備

**POINT**  
「宣言項目の設定」  
実態把握  
具体的な数値目標  
の設定  
児童生徒の主体的な宣言項目

**POINT**  
「宣言項目に従った特色ある取組」  
行動計画の作成  
外部組織等との連携

**POINT**  
「行動の記録」  
数値目標に関する継続的な点検・記録の有無  
記録の方法、内容、頻度の工夫

**POINT**  
「見直しをしたか」  
見直しの時期、方法等の工夫  
結果を踏まえた今後の方針・方策

**POINT**  
「その他」  
目標達成について  
児童生徒・地域の変容の有無

【美化】学校のバケツ全てに記入し、節水を意識した清掃を進めた。

【ボランティア】クラスマッチ形式で回収し、20kg以上のクラスもあった。

各委員会の取組をクラスマッチ形式にすることで、生徒たちの意識も高まった。自然と行う取組が環境保全につながっているということに気付き、更に向上させていければと思う。

②学年での活動

1年生では集団自治で水保育に関する学習を行った。その中で環境保全を進めいくための取組を学び、全校に発信することとした。

a: 出前授業  
くまもと環境出前講座を活用し、水に関する学習を行った。

b: 水保陣地学習  
水保陣と同時に環境に関する工夫や水俣市の取組を学習した。

c: 地域調査（個別）  
木山川に流れる水を現地へ赴き、調査を行い、アンケートをとり、環境への意識を調査した。

d: 発表・報告  
文化活動発表会において、現状を報告した。水質調査やアンケートなど具体的なデータを用いて発表し、今後の環境への取組を呼びかけた。

<発表したデータ> 1年生77名（調査時）にアンケート調査した結果の一部。3割程度の生徒に節水への意識・取組ができていないことがわかった。

2) 職員の取組

【ミスプリント・使用済み封筒の再利用】裏紙を保存し、リサイクルを進めた。

【ゴミの分別】生徒同様にペットボトルキャップの回収に努めた。

【節電・節水の取組】節水を意識付けるために水道に掲示している。

職員と生徒間で節電・節水を意識した生活を送ることで、お互いにチェックでき体制もできている。節水を意識した生徒から「先生、節水ですよ」といった発言もかれ、今後も継続して日頃の指導が重要だと感じている。

3) PTA・地域との連携した取組  
【体育大会・夏季休業中の除草作業】体育大会前と夏季休業中に保護者と一緒に除草作業に取り組みました。

【秋津川清掃】周辺を流れる秋津川の清掃に取り組み、PM10などを減らし、地域の方々と流を深めた。

【リサイクル体験活動】事前に学友団（地区生徒会）で地域の方々に呼びかけ、有機物回収に取り組み、土層授業として実施した。集めた家庭にはお礼の手紙を配付するなど地域の方々への感謝の気持ちも高めることができた。今回の収益は生徒会の活動に活用していく予定である。

4 成果と課題

今年度、新たな取組も増え、継続できるようにしていきたい。また、ISO宣言を確実に周知徹底できる場を設け、生徒会全体で取り組めるように企画・運営を進めたい。

1) 節電・節水に関するデータより

4月から9月に関して、水道使用量は大きく減っていることがわかった。（昨年度、7月は曇りの可能性が高い）夏季に冷房の使用で電気使用量は大きく増えるのではと懸念していたが、呼びかけや昼休み時間における運動停止、昼休み消灯の効果も表れた結果となった。4～9月では水道使用量は昨年度比-1.7%、電気使用量+5%となっている。今後、電気使用量を更に減らしていく取組が必要である。

2) アンケート結果より（全学年259名）

すべての項目で8割以上の生徒が環境に関する意識をもって生活できているが、それぞれ2割前後の生徒への意識喚起が全体・学校の取組が必要と感じた。

3) 委員会ごと

委員会	成果	課題
みどり環境	形態整備など全体的に呼びかけ、環境整備に取り組んだ。また、節水や節電に関する掲示することで意識を高めた。	更に取組を押し、夏季の環境使用における節電を呼びかける。
美化	無言清掃コンクールを行い、無言清掃ができる学校づくりができた。	コンクールだけにならないよう呼びかける。
ボランティア	ペットボトルキャップ集めではたくさん集めることができた。また、秋津川清掃など積極的に取り組むことができた。	クラスによって量が大きいので呼びかけと新たな企画を考える。
給食	残菜調査で残菜を減らし、余計な汚れや油の手間を省くことができた。	日頃から事務を促していきたい。
放送	昼休み節電呼びかけ放送ができ、節電の意識付けができた。	今年度新たな取組ができたので、更に環境に関する企画を行う。
図書	総合の時間や昼休みに関連する本を活用した。	図書の整理とコーナーをつくる。